

1. 設立の背景(課題)と取り組み

日本の子供・若者の憂慮すべき現代的(社会的)課題をこのまま放置していいのだろうか？

(1992年学研『今「子供」が危ない』の警告)

- ◆ 運動不足が深刻 → 「体幹」が鍛えられておらずケガする子が増
- ◆ 姿勢が悪い → 健康、脳に影響
- ◆ 食生活の変化 → アレルギー、不妊症、奇形児等
- ◆ 残念な社会現象 → いじめ、暴力、不登校、学級崩壊等

その上、日本の若者は、諸外国の若者に比べて、自己肯定感を肯定的に捉えている比率が低い傾向にあると指摘されております。

早稲田大学庭球部小学校テニス教室の開催、小笠原流礼法との出会い
47都道府県、台湾、マレーシアにおいて延べ150万人の園児・児童が参加

地方創生応援税制を活用した0歳からの立腰・体幹遊び®と
日本の心を伝える諸活動連携による日本再生国民運動に辿り着く